

主催： 日本社会教育学会・韓国平生教育学会

第9回日韓学術交流研究大会のご案内

<開催趣旨>

日本社会教育学会と韓国平生教育学会が2010年秋に締結した「学術交流協定」にもとづき、両学会の学術交流をさらに発展させる取り組みとして、「日韓学術交流研究大会」を毎年、日韓交互に開催しています。今年、ソウル市で研究大会を開催します。今年で9回目を迎えますが、近年、日韓の比較研究・共同研究が多く行われるようになり、研究紹介や情報交換にとどまらない、質の高い研究討議が行われるようになってきています。日本からの多数の参加を期待しています。

<テーマ>社会問題の解決と社会教育・平生教育

<日時> 2017年11月25日(土) 午前9時～11月26日(日) (2日間)

*24日午後に日本からの参加者を対象とした施設訪問、26日夕にその他の見学を企画しています。

<会場> ソウル大学(韓国・ソウル市)

<参加費> 3万ウォン(約2800円、資料集+昼食2回)*日本からの参加者は免除。

<懇親会参加費>3万ウォン(約2800円)

<参加申し込み・懇親会参加申し込み>

大会運営の都合上、10月31日(火)までに、下記アドレスに電子メールかファックスをお送りください。

E-mail: EZI01434@nifty.ne.jp Fax: 042-677-2083

<宿泊・航空券等> 宿泊は、事務局で以下の宿泊先を一定数確保しました。宿泊をご希望の方は、事務局までご連絡ください。航空券は各自で手配をお願い致します。

ソウル大学ホアム教授会館 <http://www.hoam.ac.kr/eng/>

<通訳> 韓国語・日本語の通訳があります。

<問い合わせ先> 第9回日韓学術交流研究大会日本事務局

野元弘幸(2016-17年度国際担当理事)

042-677-2082(首都大学東京・教育学研究室事務室)

または、090-2348-1154 E-mail: EZI01434@nifty.ne.jp

<プログラム>

11月24日(金)

- 14:00～ 平生教育関連施設訪問
ソウル市 EunPyeong 区・EunPyeong 平生学習館
ソウル革新センター

11月25日(土)

午前：開会式と主題研究発表

- 8:30 受付
9:00 開会および挨拶
9:30 **社会問題の解決と社会教育・平生教育実践<共同研究>**
日韓の基礎教育保障をめぐる実践と現代的課題
-日韓共通課題の解決をめざして-
藤田美佳(奈良教育大学)、鄭賢卿(慶熙大学校)
千成浩(慶熙大学校)
11:00 全体参加討議(社会問題の掘り起こし)
12:00 昼食

午後：主題研究発表

- 13:30-15:10 **社会問題の解決と社会教育・平生教育実践**
地域学習疎外層の学習中断
Lee Hee-Su, Bea, Hyun-Kyung (中央大学)
日本における子どもの貧困問題と包摂的支援への取り組み
—こども食堂「インクルいわて」の活動に着目して—
朴賢淑(岩手大学)、山屋理恵(インクルいわて)
朴仙子(岩手大学)
15:10-17:30 **社会問題の解決と社会教育・平生教育研究**
社会問題の解決と社会教育思想
Oh, Hyuk Jin (東義大学)
社会問題の解決と社会教育理論(仮)
宮崎隆志(北海道大学)
17:30-18:30 討論
夕：懇親会 18:30-

11月26日(日)

午前：自由研究発表

- 8:30-9:50 <特別報告>災害と社会教育
山城千秋(熊本大学)

北朝鮮離脱住民の平生教育参加動態

Cho Dea-Yeon (高麗大学)

10:00-11:20 <共同研究>

高齢者大学をとおしての社会問題解決にむけた日韓比較研究

日本の高齢者問題と大阪府高齢者大学校の取り組み

堀薫夫 (大阪教育大学)

韓国の高齢者問題と盆唐区シニア福祉センター (など) の
取り組み

崔一先 (慶熙大学)、朴志淑 (ソウル大学)

(休憩 10 分)

11:30-12-50 日本と韓国の民話の中の「多文化共生」～語りの伝統の中の知恵

孫 美幸 (大阪大学)

都市再生事業と住民教育

Jun, Hyung Bin (中央大学)

12:50-13:20 討論

13:20 閉会と昼食

15:00- 見学ツアー